

ものづくり人材育成日本一プロジェクトについて

1 平成 30 年度事業の実績及び成果と課題

[平成 31 年 4 月 12 日]

取組	実績	成果と課題
<p>ひろしま “ものづくり”技能検 定</p>	<p>ものづくり企業関係者と連携し開発した、県オリジナルの検定試験を実施（年3回） （旋盤作業、電気工事、電子回路組立、木材加工、測量、化学分析の6部門、それぞれ1級から10級）</p> <p>総受検者数 5,810人（520人減） 総合合格者数 5,645人（553人減）</p> <p>【企業が求めるレベル】1級～3級 受検者数 174人（43人増） 合格者数 116人（9人増）</p> <p>※（ ）内：平成29年度比較</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施3年目となり、生徒が意欲的に受検するようになってきた。上位級の取得を目指すことで、ものづくりに対する情熱や積極性が高まり、高度技術者等の指導により、企業が求める技術・技能を習得することができた。 ○ 7月豪雨災害の影響から受検困難が生じたため、対応策として第2回の検定で複数級の受検を可能としたが、平成29年度と比べ、520人減少した。 ○ 上位級である1～3級の受検者数は、平成29年度と比べ1.3倍と上位級に挑戦する生徒が増加し、生徒の技能は着実に向上してきている。
<p>スキルアップ セミナー</p>	<p>【スキルアップセミナー】 ひろしま“ものづくり”技能検定の実施前にスキルアップセミナーを6部門で実施 ひろしまマイスターや企業の高度技能者からの技術・技能指導を実施 受講者 1,676人</p> <p>【集中対策セミナー】 ものづくりコンテスト（中国地区、全国）開催前に、県大会を勝ち上がったコンテスト出場者に対して、技術・技能指導実施 受講者 8人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各校を会場にセミナーを実施することで、生徒は自校で受講することができ、多くの生徒が高度技術者等から技術・技能指導を受けることができた。 ○ 教員は技術指導や機械・道具の整備方法を学ぶことができ、指導力向上につながった。 ○ ものづくり全国大会 高校生ものづくりコンテスト 木材加工部門 出場
<p>スーパー・ エンジニア リング・テ ィーチャー</p>	<p>10名のものづくりの熟練技能者を8校に配置し、授業や放課後等に技術指導を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の技能向上はもとより、教職員の指導力も向上しており、熟練技能者と共に、専門的な視点で上位級に向けた技術・技能の指導を行うことで、1級～3級の受検者・合格者を増加させることができた。 ○ 関係機関と連携し、募集を行ったことで、これまで未配置であった化学分析部門について、平成31年度配置人材を確保することができた。

2 平成 31 年度 ものづくり人材育成日本一プロジェクトに係る事業計画等

月	事業計画等		
	協議会・専門部会	ものづくり技能検定	スキルアップセミナー
4月	第1回専門部会 (4/25(木))		第1回スキルアップセミナー (4/20(土)) 広島工業
5月		高校生技能オリンピック (5/26(日))	第2回スキルアップセミナー (5月, 6月)
6月	第2回専門部会 (6/7(金)) 機械CAD・建築CADのみ	ものづくり中国大会 (電気工事, 電子回路組立, 木材加工 6/15(土))	集中対策セミナー (中国大会) (6/8(土)~)
7月	第3回専門部会 (7/24(水))	第1回ものづくり技能検定 6月, 7月	第3回スキルアップセミナー (7月, 8月)
8月	第1回ものづくり検定協議会 (8/22(木))	ものづくり中国大会 (測量 8/2(金))	
9月		ものづくり中国大会 (旋盤作業 9/8(日))	
10月		第2回ものづくり技能検定 9月, 10月	第4回スキルアップセミナー (9月, 10月)
11月		ものづくり全国大会 (11月17日(日))	集中対策セミナー(全国大会) (10月, 11月)
12月	第4回専門部会 (12/11(水))		第5回スキルアップセミナー (12/7(土)) 福山工業
1月			第6回スキルアップセミナー (1月)
2月		第3回ものづくり技能検定 1月, 2月	
3月	第2回ものづくり検定協議会 (3/10(火))		

3 平成 31 年度新規事業

第4次産業革命 (I o T, A I の普及等) を踏まえ, 機械CAD部門, 建築CAD部門を新設